

## 日本脳神経外傷学会認定専門医

### 受験資格

以下の①～⑥をすべて満たすものとします。

- ① 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医  
日本救急医学会 救急科専門医  
のいずれかを有していること。
  - ② 受験申請締め切り時点で、日本脳神経外傷学会に在籍3年度以上で会費を完納していること。
  - ③ 日本脳神経外傷学会認定研修施設で、通年1年以上の研修歴（初期研修は含みません）があり、現在脳神経外傷診療に従事していること。
  - ④ 日本脳神経外傷学会で、1回以上筆頭演者として発表ないし講演していること。
  - ⑤ 本学会機関誌「神経外傷」に1編以上（共著でも可）掲載されていること。  
あるいは「神経外傷」以外の査読制度のある学術雑誌に、脳神経外傷に関する原著論文あるいは症例報告が2編以上（共著でも可）掲載されていること。
  - ⑥ 症例経験
    - a) 脳神経外科専門医
      - 1) 頭部外傷の開頭術（うち、術者として5例）
      - 2) 頭部外傷患者の脳・神経モニタリングを含めた神経集中治療管理※
      - 3) 外傷性脊椎・脊髄・末梢神経疾患の保存的治療あるいは術前術後管理（入院症例に限る）1), 2), 3) の合計 50 例以上（重複可）
    - b) 救急科専門医
      - 1) 頭部外傷患者の脳・神経モニタリングを含めた神経集中治療管理※
      - 2) 頭部外傷の開頭術（助手でも可）
      - 3) 外傷性脊椎・脊髄・末梢神経疾患の保存的治療あるいは術前術後管理（入院症例に限る）1), 2), 3) の合計 50 例以上（重複可）
- ※ ICP（髄液ドレナージからの測定含む）、SjO<sub>2</sub>、脳波、誘発電位（ABR, SEP, MEP, P300）、Laser Doppler flowmetry、TCD、AVDO<sub>2</sub>、rSO<sub>2</sub>、NIRS、AVD glucose、AVD lactate、microdialysis、血液・髄液マーカー、頸静脈温、脳実質温、瞳孔反応測定等の少なくとも1項目以上を行ったもの